

バイパス開通による歩行者の安全確保と観光施設へのアクセス向上 —都市計画道路 平潟港線(大津港停車場線)の開通—



幅員が狭く危険な現況道路



今回開通したバイパス道路

都市計画道路 平潟港線は、JR大津港駅と国道6号を東西に結ぶ幹線道路であり、大津港駅周辺における交通の円滑化を図る重要な路線です。

【課題】

- 現道は幅員が狭く、歩道も未整備な状態であるため、車両と歩行者等が輻輳し危険な状態となっていました。

【整備効果】

- バイパスの開通により、見通しが良くなるとともに、歩道も整備され、JR大津港駅から県立天心記念五浦美術館や、六角堂などへのアクセス性が向上しました。
- 現道の交通量が約4割減少(約3,600台⇒約2,300台)し、歩行者等の安全確保が図られました。



<事業概要>

路線名	都市計画道路 平潟港線
整備延長	521m
道路幅	16.0m (歩道3.5m×2)
事業期間	平成12年度 ～平成25年度
総事業費	約10億円
供用開始	平成25年9月26日